

平成28年度 倉吉市小・中学生淀屋サミット概要

平成28年5月7日（土）、倉吉市内の児童生徒が倉吉のために自分たちができることを話し合う「倉吉市小・中学生淀屋サミット」を開催しました。

8回目となる「淀屋サミット」ですが、今年度も昨年度の各小中学校での取組を全体会で報告した後、中学校区ごとの分散会を行いました。今回は、第4回淀屋サミットに参加した高校生1人と、第6回淀屋サミットに参加した高校生2人が激励のメッセージをくれました。また、県立農業大学校、JA 鳥取中央、国土交通省倉吉河川国道事務所、中部総合事務所の方も参加してくださり、励ましのお言葉をいただきました。

「淀屋サミット」当日の様子をとりまとめましたので、ご紹介します。

1 目的

本市小・中学校の児童生徒代表が、市指定文化財であり倉吉最古の町屋建築である「倉吉淀屋」に一堂に会し、地域のために自分たちができることを話し合うことをとおして、本市に愛着をもつと共にまちづくりに貢献していこうとする態度を養う。

2 期 日 平成28年5月7日（土）13:00～17:00

3 参加者

小学校 児童代表36名
中学校 各校生徒会執行部17名
高校生 3名



【講談：記念撮影】

4 講 談

倉吉市の『淀屋の光と蔭』
脇坂幸司氏（「倉吉談語の会」代表）
（場所：豊田家住宅）

5 全体会（前半）

（1）平成21年度からの取組の経過説明

菜の花プロジェクトを始めることを決めた平成21年度の淀屋サミットの様子から昨年度の取組までを事務局で簡単に説明した。

（2）各学校の取組報告（概要）

【平成27年度の宣言文】

すべての小中学校が地域と協力して、
「つなげよう菜の花で広がる笑顔の輪」活動
を進めていきます。

- 菜の花の種取りをし、その種をまいた。
- 保育園児（年長）と一緒に種をまいた。
- 土曜授業を活用して種まきをした。
- 全校児童が、地域や保護者の方と一緒に菜の花の種をまいた。
- 公民館や保育園へ菜の花の種をプレゼントした。
- 一人暮らしのお年寄りの方に菜の花の種を配った。
- 行事の度に地域の方に菜の花の種を配った。
- 運動会で来賓や地域の方に菜の花の種を配った。



【各校の報告の様子】

- プランターに植えた菜の花を公民館・保育園・高齢者施設にプレゼントした。
- 入学式の会場に菜の花のプランターを飾った。
- 菜の花プロジェクトの看板、ポスター、しおりを作成した。
- 県外の中学校と交流し、菜の花の種・ポスター・しおりをプレゼントした。
- 地域の方や学校支援ボランティアの方に土を耕していただいた。
- 種まき会への参加を呼びかけるちらしを作成した。
- 種まきの後、学校や通学路のクリーン活動を行った。
- あいさつ運動、エコキャップ運動を行った。
- 緑の羽根の募金活動をし、同時にひまわりの種を配った。
- 他の花も咲かせた。
- バス停の掃除を行った。



【各校の報告の様子】

(3) 淀屋サミット卒業生参加者からのメッセージ

淀屋サミットに参加した高校生（第4回参加者1名、第6回参加者2名）が、自分たちの取り組んできた時の想い、各学校での取組の様子を聞いての感想、また後輩へ伝えたい想いをメッセージとして発表した。

- 淀屋サミットは各校の代表者の集まりであり、誰でもできる体験ではない。貴重な場なので、しっかり意見を出してほしい。
- 県外に行っている大学生が帰省した時には、「地元が最高」という声をよく聞く。菜の花プロジェクトの成果もあるのではないかなと思う。
- 熱い想いをもって取り組んでいた大切な活動だったので、それが受け継がれていてとても嬉しかった。
- 日頃見えないところで私達を支えてくださっている地域の皆さんと、楽しくできる活動なので、みんなでより良い倉吉にしていきたい。
- いろいろと難しい面もあると思うが、リーダーが楽しく活動する姿勢が他の生徒の心を動かすことになる。菜の花プロジェクトを楽しんで進めてほしい。



【先輩が後輩にメッセージ】

6 分散会の状況（倉吉淀屋）

【河北中学校区分散会】

〔倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと〕

〔菜の花プロジェクトについて〕

- ポスター・看板づくり
- 河川敷に種をまく。
- 地域や各家庭に菜の花を広げる。
- 各校区ごとに種まき（小中合同ボランティア）

〔菜の花プロジェクト以外〕

- チューリップ、ひまわり、野菜づくりをする。
- 保育園児との交流をする。
- 清掃活動（各学校）をする。

【久米中学校区分散会】

〔倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと〕

〔菜の花プロジェクトについて〕



【河北中学校区意見交換】

- 各小中学校でポスターを作成する。
- 各中学校区の施設や公民館に菜の花のプランターをプレゼントする。
- 菜の花がきれいに咲く方法を調べる。
- 各地域で菜の花を育てる。

[菜の花プロジェクト以外]

- 地域の人とゴミ拾いをする。
- 菜の花以外の花を植える。
- 地域の人とあいさつができる場所であいさつ運動をする。

【鴨川中学校区分散会】

[倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと]

[菜の花プロジェクトについて]

- なぜ菜の花プロジェクトが始まったのかについて話し、もっと興味・関心をもってもらおう。(歴史について話す)
- 植える面積を増やす。
- 小中学校合同で菜の花を使って文字を書く。(橋の上から見える)

[菜の花プロジェクト以外]

- 熊本地震の被災地に、募金で集めたお金と菜の花の種を小中学校に送る。

【西中学校区分散会】

[倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと]

[菜の花プロジェクトについて]

- 円形校舎の周りに花を咲かせる。
- 地域の方に種やプランターを配る。
- 菜の花の油で料理交流
- 教育実習の訪問先の保育園にお礼として種を配る。(中学生)

[菜の花プロジェクト以外]

- お年寄りのところに弁当を配る。
- クリーン活動(ゴミ拾い)
- ペットボトルのキャップ集め
- 季節ごとの花を咲かせる。

【東中学校区分散会】

[倉吉をよくするために取り組んだらよいと思うこと]

[菜の花プロジェクトについて]

- 運動会で風船に菜の花の種をつけて飛ばす。
- 観光案内所に置いてもって帰ってもらう。
- 保育園児と一緒にまく。
- 運動会で頑張った人に種をあげる。

[菜の花プロジェクト以外]

- 地域の人とスポーツで交流する。
- 高齢者施設の方との交流(昔の遊び)
- あいさつ運動を広める。
- ゴミ拾いをする。



【久米中学校区意見交換】



【鴨川中学校区意見交換】



【西中学校区意見交換】



【東中学校区意見交換】

〔宣言文の内容の検討〕 ※下記内容に決定

すべての小中学校が地域と協力して、

「広げよう感謝の花の黄色いじゅうたん」の活動

を進めていきます。

7 全体会（後半） * 全体会の話し合いで今年度下記のことに取り組むことが決定

【全小中学校で取り組むこと】

■菜の花プロジェクトについて

- ・菜の花の種やプランターを地域の方に配る。
- ・地域の方（可能なら保育園児も）と一緒に種をまき、地域に菜の花を広げる。
- ・ポスター・看板をつくる。（無理のないように）
- ・菜の花プロジェクトの歴史について興味関心を持ってもらうために全校に話をする。

■それ以外の取り組みについて

- ・地域のクリーン活動を行う。
- ・あいさつ運動を広める。
- ・ペットボトルのキャップ集めをする。
- ・熊本の人に募金と菜の花を送る。

【各小中学校で取り組んだらよいと思うこと】

（それぞれの学校で検討して取り組む）

- ・運動会で風船に菜の花の種をつけて飛ばす。
- ・菜の花の種を観光案内所に置いて、持って帰ってもらう。
- ・地域に菜の花を広げる。
- ・菜の花の油で料理交流をする。
- ・お年寄りのところに弁当を配る。
- ・季節ごとの花を咲かせる。
- ・地域の人とスポーツ交流をする。

8 倉吉市小・中学生淀屋サミット宣言



【宣言文受取】

9 激励メッセージ

■国土交通省倉吉河川国道事務所

小学生及び中学生の皆さんが、地元を元気にする方法をこんなに考えているのを知って、大変うれしく思っている。この菜の花プロジェクトの経験は、きっとふるさとを愛する心を育み、将来も倉吉に住んで、地元を盛りたててくれるものと思う。これからも、菜の花プロジェクトで河川敷を役立ててほしい。また、今回さらに、菜の花プロジェクトを卒業された高校生の方も参加しておられ、感心した。大学に進学しても、ぜひ地元倉吉に帰って定住して、菜の花プロジェクトの後輩達にアドバイスをしてほしい。

倉吉市小・中学生淀屋サミット

21世紀を生きる私たちの宣言

私たちが生まれ、そして暮らしているこの倉吉は、この地を愛した多くの人たちが豊かな歴史を創り、素晴らしい財産がたくさん残るまちです。

このように胸をはって誇れる伝統や文化、自然。その一つであるこの「倉吉淀屋」で、私たちはこの倉吉をさらに愛されるまちにするために、何ができるかについて話し合いました。

私たちはここに宣言します。

- 一 この倉吉のこれからを担うのは、ここに集う私たち小中学生であることを自覚し、自分たちで考え、さまざまな活動を行うことをとおしてまちづくりに取り組んでいきます。
- 一 私たちは、先輩達の思いをもとに話し合った内容を、自分の学校の仲間にとっかかりと“つたえ”、力を合わせながら“ひろげ”、これからのまちづくりに“つなげる”ために取り組んでいきます。
- 一 私たちは、自分たちの住んでいるふるさと「倉吉」を大切に思い、地域の人々とともにこれからのまちづくりに取り組んでいきます。

まずは、今日、この場で話し合ったことをもとに、すべての小・中学校が地域の方と協力して、

「広げよう 感謝の花の 黄色い じゅうたんの」
活動を進めていきます。

平成28年 5月7日

■中部総合事務所生活環境局

皆さんが満面の笑顔で発表する姿を見て、花を育てることが皆さんの心の中に良い作用を及ぼしているのではないかと感じた。そしてこのプロジェクトがあいさつ運動や美化活動にも波及している。それを何とか工夫して地域に発展させていきたいと考えていることに対して、本当に心強く思う。この活動を是非続けていき、60年後には皆さんの力で倉吉の人口が倍になっているとなれば嬉しい。小さい頃からこういう心を育むことは大切なことである。

■JA 鳥取中央

菜の花プロジェクトに最初から参加しているが、この流れが8年継承されていることを大変嬉しく思う。併せて、心が繋がっていていることを嬉しく思う。花を咲かせることに関してのアドバイスだが、昨年度の共同区域には堆肥をペレット化したものをまいた。これが非常に良く、菜の花が大きく成長した。是非使っていただければと思う。また、河川敷に種をまく場合には、土壌のPHを上げると育ちやすいので石灰分を補充してやるとよい。

10 児童生徒の感想

【小学生】

- いろいろな学校で私たちがしていないようなことをしていてすごいと思いました。今日聞いたことを学校で取り組んで、より良い倉吉にしたいです。
- 僕たちにできることは少ないかもしれないけど、あいさつを広げて倉吉全体を気持ち良い街にしたいと思いました。
- こういうあまりない交流に参加して、とてもいろいろなことを学びました。とても楽しかったです。めったに聞けない高校生の話も聞けてとても楽しかったです。
- 「倉吉がどうしたらよくなるのかを、子ども達が集まって話し合う」ということが、倉吉の誇れることだと思います。

【中学生】

- みんな自分の意見を持ち、それを発表し、全員で倉吉を良くしていこうという淀屋サミットの雰囲気がとてもよかった。倉吉の今後についてあまり考えていなかったのもとても良い経験になりました。
- 菜の花プロジェクトのことだけでなく、リーダーとしても勉強になりました。
- 淀屋サミットに初めて参加してみて、とても良い活動だと思いました。倉吉を良くするために、大人ではなく小中学生が活動をする。とても大変なことだと思いますが、高校生の方が言っていたように、楽しく活動できたらいいなと思いました。
- 私たち倉吉に住んでいる人・住んでいた人が、倉吉を「好きだ!」と言えるように、倉吉の良さを引き出し、倉吉を好きだと思ってくれる人を増やしていきたい。

第8回となる今回の「淀屋サミット」は、53名の小中学生と3名の高校生の参加で開催されました。2名の高校生は昨年に続き2年連続の参加でしたが、3名の高校生の生きた言葉に会場の空気は一変しました。そこにいるだれもが高校生を食い入るように見ながら、その一言一言を聞いていました。そこには小中学生の目指す姿としての輝きがありました。サミット終了後に、「私も来年もぜひ参加したい」と言っている中学生が、この先輩の素晴らしさを物語っているのではないのでしょうか。脈々と縦の糸が繋がっていくことを大変嬉しく思います。

前々回から分散会は中学校区ごとでの形をとっていますが、中学生が司会進行をし各校区の話し合いをまとめていく姿は、これからの倉吉のまちを担っていく若者としての力強さを感じました。今年は全体会での発表は少々控えめではありましたが、ここでも中学生がしっかりと自分の考えを述べ、全体会を引っ張っていく姿に逞しさを感じました。中学校区のつながりもより一層強いものになったように思います。

まいた菜の花の種が、やがて倉吉のまちに咲き誇るように、淀屋サミットに参加した小中学生の高き志が、それぞれの学校や地域の未来に彩りを添え、お互いの絆を強くしていくことを切に願ってやみません。